



皆さん、 「いますぐ原発の廃止を」を 読んだかな、どう思ったかな？

シメオン後藤正史神父



このたびの日本カトリック司教団メッセージ（2011年11月8日）のタイトルを見て、あるいは耳にして、私たちは目を、耳を疑ったのではないのでしょうか。よくそこまで言ったものだ、司教団にも意外と勇気があるんだとか、なんで断定的、一方的な物の言い方をするんだ、プロセスを全然考えていないといった両極の反応があり得るでしょう。

いずれにしても、私たちは、司教たちが投げかけたチャレンジを、というより福島原発大崩壊により問いかけられたチャレンジをもはや避けて通ることはできません。どのような立場に立つにしても、あの福島原発事故以来、私たちは自らの生活様式の実態が明るく照らし出されることになりました。根本的に生き方、生活様式を変えた人がある

一方で、原発事故は所詮、対岸の火事で他人事と思う人もいます。ここで、「愛の反対語は無関心」（マザーテレサ）という言葉が思い浮かびます。

私たちは世間やお上に逆らわずにおとなしく従うということが身についていますので、この世のおかしいことを見分け、もの申すことに慣れてはいません。そんな中で、司教たちが原発の廃止まで踏み込めたのは、信仰者、キリスト者として、神が創造された人間、自然をいのちという視点から徹底的に守ろうとする立場に立つことができたからでしょう。

ここで、私たちは大切なことを二つ、教えられました。第一に、物事を世間（政治、経済）の視点ではなく、福音の視点から見分ける、識別する

ということ。第二に、世間に逆らうようなことになっても、勇気をもって立場を明らかにして、発言すること。

ちなみに司教団メッセージは内容からみると、

【安全神話の崩壊】



【いますぐ、原発の廃止を】



【いのちの優先的選択】



【原発の危険性】



【廃炉への道】



【生活の見直し】

という流れで書かれています。

皆さん、まずこのメッセージをじっくり読みこんでみましょう。

信仰の歴史にふれた 長崎県五島巡礼の旅

SK

昨年 11 月 9 日から 4 日間の日程で、肥塚神父様を含む 18 人で、長崎県五島へ巡礼に行きました。また、11 月 26 日～28 日は 8 人で平戸・佐世保などを巡礼。合計 37 カ所を巡り、信仰の歴史にふれ、静かな祈りに満たされた旅でした。

五 島には 50 の教会堂がある。私達は 17 の教会に巡礼、静かな祈りの中で御聖体に賛美と深い感謝を捧げ、殉教者の不屈の精神とキリストの靈性に強く結ばれた生ぎまが心に滲みだ。

幟町信仰共同体が父と子と聖霊の恵みの中で、彼らが貫いた信仰を糧として歩み、受洗者と若者の召命にお応え出来ますように、各教会で聖霊の恵みを祈った。

*中通島の江袋、赤波江、仲知(島本大司教様、前田司教様ご出身の教

会)曾根、青砂ヶ浦、丸尾、中の浦の各教会(桐教会では肥塚神父様のごミサ)

*若松島洞窟のイエス様と十字架。

*奈留島の奈留教会(江上教会では肥塚神父様のごミサ)

*福江島の繁敷、三井楽、水ノ浦の各教会。朝ミサの楠原教会

*久賀島の浜脇、新旧五輪教会、迫害の牢屋の窄に巡礼した。

平

戸・佐世保・出津などの巡礼は 8 名で 16 カ所を巡礼。

*平戸口教会。

*カミロ・コンスタンチオ神父殉教の焼罪殉教地。宝亀教会(三末司教様ご出身)

*生月島山田教会。2008 年 11 月 24 日列福されたガスパル西玄可殉教地の墓前で黙想。

*27 日平戸教会で前田司教様司式のサビエル記念ミサに与った。上神崎、田平、禰崎、神崎教会に巡礼。

*朝ミサの俵町教会。

*ドロ神父の出津教会に巡礼。

長崎の信仰の歴史

550 年 フランシスコ・サビエルはイエス・キリストの種を平戸に蒔いた。続く宣教師の布教により多数の受洗者が長崎各地にいた。

597 年 秀吉による 26 聖人の西坂殉教。徳川幕府の熾烈な弾圧。

614 年 宣教師追放令、元和の大殉教、凄惨な穴吊等の殉教に

644 年 1 人の司祭も日本にいなかった。キリシタンは潜伏し帳方、水方の組織で信仰を守った。

865 年 **大浦天主堂の信徒発見**

867 年の浦上 4 番崩れの流罪は世界の非難を浴び、1873 年明治政府は禁教の高札を降ろした。

*バスチャン潜伏の石小屋の前で黙想し分かち合った。西海の碧い海波、素晴らしい教会堂の巡礼はうちなる祈りの静かに満たされた感謝の巡礼でした。



若松島洞窟



平戸教会

クリスマス実行委員会から

クリスマス実行委員会委員長

クリスマスミサにつきましては、皆様のご協力により喜びのうちに捧げできたことを感謝いたします。

先日クリスマス実行委員会の反省会を行い、有意義な意見をたくさんいただきました。主なものを紹介します。

＋ 音大生の聖歌隊について

今年度はエリザベト音楽大学の協力により、第1ミサを音大生の聖歌隊に歌っていただきました。私達にとっても大学にとっても初めての経験で暗中模索でしたが、無事に終えることができました。参列した方々の意見も概ね好評でした。学生達にとっては初めての経験で興奮気味であり、ミサの前少々騒がしかったようですが、大変感激し、喜んでいたのであります。祈りに深みがないとの声もありましたが、これもこれからの積み重ねが必要だと思われます。

＋ パンフレットについて

パンフレットは、3年間使う予定で4,000部作成、使用後は回収しました。回収すると巻頭の司教様の言葉や巻末のお知らせ、聖堂紹介等を読んでももらえないという意見があり、来年度はそれらの部分を別刷りにして配布する等の方策を

検討することとなりました。

タイトルを以前のように「市民クリスマスミサ」としてほしいという意見と、あえて付ける必要はないという意見があり、今後議論が必要です。

＋ ミサの雰囲気について

メールで「大切なことが何なのか見えてこない雑然とした雰囲気だったと思う」という意見があり、これに対して

- ・単に市民を招くだけでは宣教にはならない。
- ・静かに祈りたい人が静かに過ごせる雰囲気がない。
- ・未信者がザワザワするのは仕方がないが、信者がザワザワするのはどうか。まずは、信者側が気を付けなければならぬが、普段からできていない。
- ・ミサの前にパイプオルガンを弾いてもらってはどうか。
- ・一般的に日本人は真面目で、静かにというが、深夜のミサでは、フィリピンの方々は喜びを表している。クリスマスミサをどうしたいのか？
- ・喜びを表現するのと、ざわつくのとは違う。心がどちらを向いているかの問題。
- ・宣教なのか？ 祈りなのか？ 根本的に考える必要がある。

等々さまざまな意見が出まし

たが、私達が大切にすべきものは何か、初めて教会に来られた方々にキリストの神秘をいかに伝えていくか、今後議論を深めていかなければならないと感じました。

＋ まかない係について

今年は有志により担当していただきました。音大生達にも提供するため大量の準備になりましたが、若い人も積極的に関わり、無理なくできたとのことでした。大変好評で、特に音大生達は感激していたとのこと。一方でセルフサービスでも良いのではないのかという意見もありました。

＋ リース、馬小屋等の飾り付けについて

作業には人手がかかるが、若い人の働きが少なく、特定の方がやっている意識がある。危機意識を持って、全員でやる意識付けが必要。特に馬小屋の組み立て、解体作業は危険で、経験のある人の指示に従ってみんなが動かなければならない。責任者を決める必要がある。等の意見が出され、組織的に取り組んでいく必要性が明らかになりました。

そのほか各係についてもさまざまな意見が出されました。詳細は議事録に記載していますので、ご希望の方は実行委員長までお申し出ください。

改めまして、実行委員の方々を初め、皆様のご協力、本当にありがとうございました。

2～3 月の行事予定

- 2/12(日) † 年間第 6 主日
 高齢者の集い
 学習会「第二バチカン公会
 議の精神を学ぼう」
- 2/15(水) 聖時間 (地下聖堂 10:00)
- 2/17(金) 幹事会
 愛宮ラサール座禅会 (地下聖堂
 19:00)
- 2/19(日) † 年間第 7 主日
 「平和アピール 1981」記念行事
 日曜学校授業
- 2/22(水) † 灰の水曜日
- 2/23(木) 祈りの集い (地下聖堂
 18:30)
- 2/25(土) ヨハネ・パウロ 2 世来
 広記念ミサ (地下聖堂 11:00)
- 2/26(日) † 四旬節第 1 主日
 ヨセフ会主催 10 分間の掃除
 ぶどうの会全体会
 高齢者の集い
 運営委員会
- 3/2(金) マリア会定例会
- 3/4(日) † 四旬節第 2 主日
 教会掃除
 パイプオルガン定期演奏会
- 3/10(土) 幹事会
 「祈りの体験」(観音教会 10:00)
- 3/11(日) † 四旬節第 3 主日
 四旬節黙想会
 日曜学校授業
- 3/18(日) † 四旬節第 4 主日
 ヨセフ会主催 10 分間の掃除
 運営委員会
 日曜学校卒業式・終業式
- 3/22(木) 祈りの集い (18:30)
- 3/25(日) † 四旬節第 5 主日
 高齢者の集い
 学習会「第二バチカン公会
 議の精神を学ぼう」

編集後記



は公はバレンタインデーと
 ていな式にももとの教聖バレ
 気が落い。はもとの教聖バ
 婚を禁ちる。はもとの教聖
 国を止る。はもとの教聖
 裏に結さ。はもとの教聖
 つたか。はもとの教聖
 男女の愛の誓い。はもとの
 ように。はもとの教聖
 に本で。はもとの教聖
 コレト。はもとの教聖
 間消費量。はもとの教聖
 消費。はもとの教聖
 強。はもとの教聖